

水メジャー「ウォーターバロン」って何



○水メジャー「ウォーターバロン」ってどういう意味？

- ・メジャーという言葉には、国際的な市場支配力を有する巨大な企業という意味があります。
- 水メジャーとは、水道下水道事業の国際的な巨大企業を指します。

○世界三大水メジャーについて

- ・世界の水メジャー「ウォーターバロン」として有名なのが、フランスの「スエズ・エンバイロメント」「ヴェオリア・ウォーター」とイギリスの「テムズ・ウォーター」の3社を指す事が多いです。
- ・フランスのバリ、イギリスのロンドンの都市化が進んだ時に市民に安全な飲み水を提供するため

に上水道設備を目的に設立された企業が今の上記3社の基になっています。

- ・下水道を含めた水道業務全般を引き受ける企業として、ヨーロッパや南アメリカ、東南アジアなどで積極的な事業展開をしています。

- ・フランスの上記2社が、世界の民営水道による給水人口の6割を独占していると言われてます。それに次いでアメリカやドイツ、シンガポールやスペイン、韓国などの新興勢力も世界市場に進出しています。

○日本ではどうなっているの？

- ・日本でも2006年にヴェオリアが広島市と埼玉市の下水処理場の運転・維持管理事業を相次いで委託し、水業界では「ヴェオリア・ショック」と呼ばれていました。
- ・水道・下水道の世界は物凄いスピードで変化しています。日本国内では、水処理機器企業、エンジニアリング企業、商社、自治体等が海外進出を始めています。

みなさんは知っていたでしょうか？水道下水道事業は海外でも日本でも変化し続けています。みなさんにはもっともっと水の事について知って欲しいです。



外国では、フランスやイギリスの大きな企業が世界中の上下水道事業を運営しているんだね！

